

広報 智と知を合わせて 甲賀をよくする場に

みんなで e-こうか

楽しい取り組み、ホットなニュースをみなさんにお届けします。今日からあなたも仲間です。



おかえりなさい
イノベーションサロン

令和5年7月19日、碧水ホールでは18時過ぎから「久しぶりやな」と「元気なしてた？」と、今日はどこにいるの？と、ポチポチ集まる参加者どうし、あちこちらで談笑が始まりました。

みんなでe-こうかのイノベーションサロンを経て3年目のコロナ禍を経てようやく帰ってきました。

e-こうかの事業を企画する運営委員も民間問わず20名を超えました。

今回もプロジェクトチームを中心に、数か月前から「参加者は何を求めているだろうか？」と準備を重ね、時勢に即したテーマを考え、とっておきの4名のカフェマスターをゲストに迎え、みんなでe-こうか式ワールドカフェ風のワークショップの再開でした。

ブースごとに聞き入る参加者、カフェマスターの人も大歓迎、出たり入ったり延べ100名の参加者が賑やかに集いました。

「今度、こんなこと、しようと思ってるねん」「なにか私でもできることあるかな？」の対話が聞かれました。何かが始まるイノベーションが帰ってきたことを実感するのでした。

令和5年度は甲賀市市民協働提案採択事業として取り組みます。

みんなで一緒に“いい甲賀”を

みんなde e-こうかの紹介
平成28年2月
甲賀圏で福祉・介護・保健・医療・教育・生活困窮者支援等関係者ネットワークの集い開催 (22名参加)

目的と内容
1・仲間が寄り集まり、情報交換する場
2・認め合い励まし合える場
3・刺激し合い、新たな取り組みにいかせる場

智と知をあわせて甲賀をよくする場にしたい

立ち上げ時の想いは変わらず、さらなる進化発展へ

私たち“みんなde e-こうか”大切にしていること
・『弱さの情報公開ネットワーク』
専門職も弱音を吐けるネットワーク
・『スノーフレクリーダシップ(雪の結晶)』
お互いの力を引き出す力をつける

イノベーションリロン開催に向けて
こんなサロンにしたい!! 発見を出さるところから
・発見の場
多職種に参加を呼びかけ、普段なかなか出さなない面白い声やアイデアをネットしたい
・ひらめきの場
新しいつながり(イノベーション)を意図した企画立案と働きかけたい
・出会いと協働の場
多様なカフェマスターの参加により、参加型、提案型のサロンを実現したい

これからの“みんなde e-こうか”
活用資源 結び資源
やりたいこと思っていること + 専門性・強み得意なこと

チャレンジを支える土壌づくり
気軽に相談できる関係 協働体制
→みんなde、あなたにたい“甲賀”を創る

東近江の『SOLO』をお手本に始まった活動団体、みんなでe-こうかは、コロナ禍を経て、ますます注目されるようになって、「仲間に入りたい」「早く再開してほしい」などの嬉しい声が増えていきます。その正体は何から改めて、みんなでe-こうかの魅力を振り返ります。



みんなでe-こうか
大谷喜久 事務局長

私たち、みんなでe-こうかは、福祉・介護・保健・医療・教育・雇用・生活困窮者支援などに関わる専門職や市民が、多職種連携や協働、地域共生社会の実現を目指して平成29年から活動をスタートしました。

近年では、孤立や孤独、ひきこもりや8050問題など各種専門職の専門領域だけでは解決できない課題が山積しており、現状を打破するネットワークが求められています。

みんなでe-こうかは、活動を通じて、参加者同士の新たなつながりから生まれるアイデアを形にすることで、地域共生社会の実現をめざしています。

イノベーションサロン
多職種に参加を呼びかけ、普段なかなか出会えない出会いをコーディネートする「発見の場」であり、新しいつながり(イノベーション)からアイデアが生まれる「ひらめきの場」、そして、多彩なカフェマスター(話題提供者)の参加による「出会いと協働」の場です。私たちは、



e-こうかメンバーで行った体験会の様子

市民協働事業の一つとして、超高齢社会の社会的孤立の解決をめざすボードゲーム「コミュニケーションコレクション」を一般社団法人コレクションサポート開発を推進し、令和5年6月に2回の体験会を実施してきました。

コミュニティリビングが現実社会の課題と向き合い、気づき、社会とのつながりを築き、社会とのつながりを築く方々のシミュレーションゲーム。

コミュニティリビング 認定プレイヤー6名が取得

8月6日には、開発者の千葉晃一氏と関西支部支部長の中土さきに甲賀市にお越しいただき、e-こうかメンバーが認定プレイヤーとして養成講座を受講しました。講座では、ゲームの趣旨、ファシリテーターとしてのゲームの進め方、振り返りの仕方について実際に体験しながら学びました。

その後、6名の認定プレイヤーが中心に、シリテーターを中心に、体験会やリアルまち歩きを展開しながら、みんながプレイヤーになれる甲賀市をめざします。

ゲームに出てくる21枚のつながりカード、地域のおもながプレイヤー